〝最良の工業適地〟と呼ばれる 北海道千歳市

対談を終えて握手（右が山口市長）

山口　幸太郎 千歳市長 ▶◀ 井水　治博 日刊工業新聞社社長

対談

北海道の空の玄関「新千歳空港」がある街として知られる千歳市は道央に位置し、約9万3000人の人口を擁する。新千歳―羽田線は1日に50往復以上が就航し、単一路線では世界一の輸送人員を誇る。空港のほか港、鉄道、高速道路と交通アクセスに恵まれた優位性を生かし街づくりの柱の一つとして企業誘致に力を入れている。山口幸太郎市長は日刊工業新聞社社長の井水治博と対談し、冬の自然環境は企業の生産活動の支障にならないことを強調するとともに、人や企業に来てもらい街の勢いを維持するため、魅力を一層高めていく姿勢を示した。

冷涼な気候、企業誘致の利点に　山口市長
人材確保も進出のポイント　井水

新千歳空港の原点は村民総出の開拓魂

井水　まず千歳市の街づくりについて、基本的な考え方をお聞かせ下さい。

山口　市長に就任してから8年、千歳市の特性を生かした街づくりを一貫して進めてきました。基本的な柱は空港、自衛隊、観光、企業誘致の四つです。空港のことを考えると、改めて先人の洞察力の素晴らしさを感じます。というのは、1926年（大15）に村民総出の労働奉仕で飛行場を造ったことが北海道の空の玄関「新千歳空港」の原点となっているからです。その〝開拓魂〟が現在の発展につながっていると思います。

井水　私が驚いたのは、この人口減少社会の中で千歳市の人口が増えていることです。四つの柱を基本とした街づくりの成果が表れているのだと思います。企業誘致の成果として、千歳には大手メーカーの工場が多く立地していますね。

山口　現在の工業団地の規模は10カ所、625㌶です。キリンビール、日清食品、カルビー、キッコーマン、パナソニック、セイコーエプソン、SUMCO、ミツミ電機、デンソーなど多様な企業の工場があります。

井水　千歳の特徴や工業団地の立地優位性は何だと考えていますか。

山口　千歳の特徴は空港をはじめ高速道路やJRの結節点にあり、交通の要衝であることです。さらに国立公園支笏湖に代表されるきれいで豊富な水資源があり、大消費地の札幌市に近接しているなど、工業団地としての優位性が高いと考えています。

井水　企業誘致の都市間競争が高まる中で、07（平19）年度からの4年間で32社の企業立地を実現しました。誘致を成功させた要因は何ですか。

山口　ワンストップサービスを心がけ、進出にあたってはいろいろな支援をしています。それに加え、土地リース制度や空き工場紹介制度、土地や建物を一体的にリースや会社から賃借できる間接リース制度という仕組みを導入し、企業が立地しやすい環境を整備してきました。来年度からは10年間の割賦支払制度も導入する予定です。また昨年4月から助成制度を大幅に拡充しています。

井水　制度の充実だけでなく、市長の熱意とリーダーシップも大きいのではないでしょうか。

山口　企業との信頼関係構築や千歳市の熱意を伝えるために、私自ら企業を訪問するトップセールスも行っています。それとともに既存の立地企業へのアフターケアも非常に大切です。私はできるだけ機会をつくり、訪問するようにしています。立地企業との良好な関係を築き、千歳を気に入っていただくことが企業や人のネットワークによる口コミで、次の誘致につながると考えているからです。

年間の空調コストは東京の約7割

井水　最近ではデンソーの子会社、デンソーエレクトロニクスが臨空工業団地の一角に進出しました。企業誘致の際、雪や寒さはハンディになりませんか。

山口　ほかにも進出候補地があったとお聞きしていますが、われわれは千歳の気候は決してマイナスではないと訴えました。千歳は道内では比較的降雪が少ない地域であり、除雪は万全ですので通勤や物流に支障が出ることはありません。寒さは四季のメリハリを生み、冷涼な気候は資源でもあるとPRしました。立地企業にとっては夏の冷房費が安く済みますので、1年間の空調コストは東京より約3割低いというデータもあります。企業誘致では、雪や寒さはマイナスにならないことを理解してもらうことが大切です。

デンソーエレクトロニクスは、このような状況をよく理解して進出してくれた企業の一つです。最近、千歳臨空工業団地で操業に入った情報関連企業は当初、拡張計画はなかったのですが、立地決定後に千歳のよさを分かってもらい、事業拡張を検討していただいています。

井水　企業にとって、現地で優秀な人材を採用できるかは進出先選定の重要なポイントです。

山口　千歳科学技術大学をはじめ、千歳市周辺には北海道大学や室蘭工業大学などの理工系教育機関が充実しています。千歳は道内で最も平均年齢が若く、人材の確保も容易です。大学、高校とのパイプづくりや社員募集についても立地企業と一体となって、優秀な人材を確保するためのサポートを行っています。

デンソーエレクトロニクスが千歳で採用した従業員の研修を愛知県で行った際、勤勉に働く姿や改善提案件数の多さなどを評価していただいたという話を聞き、千歳の人材に大いに自信を持ちました。

井水　進出企業は地域との連携も重視する傾向にあります。

山口　千歳は若い街で、全国各地から人が来ています。そのため、よそから来た人を快く受け入れる風土があります。24もある県人会が進出企業と交流する受け皿になれると思います。地場企業と進出企業が参加する工業クラブという団体もあります。リーマン・ショック後も会員企業が増えており、クラブ内での異業種交流も盛んです。

千歳の強みを生かした誘致政策

井水　大手ばかりでなく、中堅・中小企業の進出もありますか。

山口　東京都大田区から中小企業が何社か進出してくれました。注文書、図面はネットで送られてきて、製品をつくれば空港からすぐに輸送できます。東京と比べてコストは非常に低く、大都市の工場密集地域の代替機能を果たせると思います。集団で移転して団地をつくるとしても、千歳には十分なスペースがあります。

井水　千歳には裾野が広いモノづくりの集積地になれる可能性があるということですね。ところで昨年1月に千歳市地域産業活性化基本計画を策定しました。

山口　千歳の特色を生かす誘致政策です。光科学を専門にする千歳科学技術大学があるのを踏まえ、光に関する最先端の研究や製品開発を行う「光関連」、名水百選に選ばれた水や道内の豊富な食材を活用して製造する「食品関連」、地の利を生かした「物流関連」の3分野を明確に位置付け、誘致を進めています。

井水　最近はデータセンターの誘致にも力を入れているようですが。

山口　北海道の冷涼な気候を生かせば、環境にやさしい省エネ型のデータセンターの実現が可能です。さらに千歳は地震、雷、台風などのリスクが少なく、地形が平らです。データセンターに必要な電力や光回線の二重化などのインフラも整っています。

井水　日本は人口減少社会となり、自治体経営が一段と厳しくなっています。そのような中、どのように街づくりを進めていくのか、展望をお聞かせ下さい。

山口　4月から第6期総合計画がスタートします。これは10年スパンですが、人口減少社会ということを考えると、さらにその先を見据えなければいけません。四半世紀後、北海道の人口は560万人から440万に約2割減り、中には3―4割減る都市もあるという予測があります。ただ札幌から苫小牧にかけての道央圏は減少が小さく、千歳は3・8％の減少にとどまると予測されています。

10年（平22）の国勢調査速報値で、当市の人口が5年間で2193人増加し、全道では3番目に人口が増えたとの報道がありましたが、努力を怠れば人口移動が起こり、人が出て行ってしまいます。人口減少社会の中で人に来てもらえるようにするには雇用、教育、福祉など街の魅力を高め、新たな魅力をつくり上げていくことが大切です。現在の千歳の勢いを止めず、持続させていくとの思いを込め、今年を表現する漢字一字は「勢」としました。これからも企業が求めることにきちっと対応し、「北海道に立地するなら千歳が一番」と言っていただけるような誘致政策を進めていきたいと考えています。

井水　人口減少社会は大変なインパクトがあります。特に生産年齢人口の減少は経済に大きな影響を与えます。中国はもっと劇的に高齢化が進むという予測もあり、人口減少は世界的に大変な問題です。千歳市には是非、人口減少社会になっても活力を維持し、発展する自治体の「成功モデル」になってほしいと思います。本日はありがとうございました。

千歳市工業団地

進出を決定いただいた企業の皆様のお声を集めた「5つの魅力」をご紹介します！

魅力1　空港へ10分、港湾へ30分 抜群の交通アクセス！

魅力2　特別高圧電力、天然ガス、地下水、光回線を完備！

魅力3　優秀な人材と豊富な労働力があります！

魅力4　きれいで豊富な水資源があります！

魅力5　初期投資軽減事業＆充実の補助制度あり！

千歳市工業団地 5つの魅力 CHITOSE 5 STAR

魅力1 交通アクセス　羽田-新千歳間乗客数 世界1位（年間約966万人 平成21年度実績）

魅力2 産業インフラ　上下水道 全道一の低料金（平成22年4月、道内都市部）

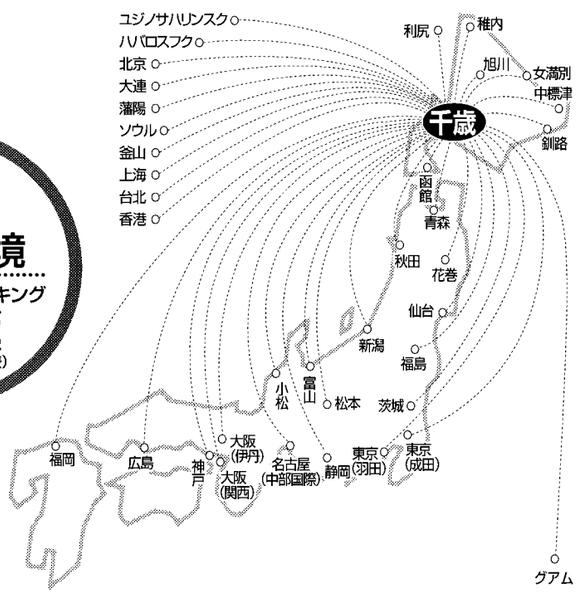
魅力3 人材・労働力　平均年齢39.4歳 全道一 若い街（平成17年 国勢調査）

魅力4 立地環境　支笏湖湖沼水質ランキング 全国第1位（平成22年環境省発表）

魅力5 支援体制　北海道・千歳市の助成金合計限度額 37.3億円

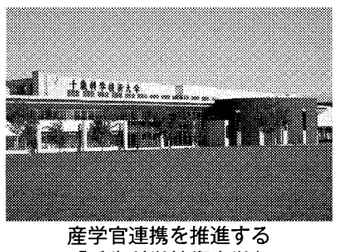
ビジネスチャンスは
北海道千歳市から！

新千歳空港に近接する工業団地は、全国、海外を視野に入れたビジネスチャンスがあります！



※1日当たりの便数は、
東　京へ51往復
名古屋へ14往復
大　阪へ16往復

国内外を結ぶキーステーション「新千歳空港」


産学官連携を推進する「千歳科学技術大学」

平成22年3月にオープンした「国際線ターミナルビル」

千歳臨空工業団地

〒066-0009 北海道千歳市柏台南1丁目3-1 千歳アルカディア・プラザ3F（JR南千歳駅前）
千歳市産業支援室企業振興課
TEL.0123-42-0522　FAX.0123-42-0554
http://www.city.chitose.hokkaido.jp/yuuchi/
千歳市工業団地　検索